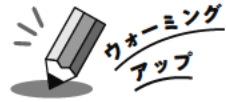


使用教材：地図帳『新詳高等地図』『標準高等地図』

地図帳にある中国、ヨーロッパ、北アメリカの鳥瞰図を見て、以下の問いに答えよう。

掲載ページ：中国の鳥瞰図……『新詳高等地図』p.11～12、『標準高等地図』p.13～14
 ヨーロッパの鳥瞰図…『新詳高等地図』p.47～48、『標準高等地図』p.39～40
 北アメリカの鳥瞰図…『新詳高等地図』p.77～78、『標準高等地図』p.65～66



鳥瞰図から読み取れることを、地図帳に記入していこう。

- 問1** (1) 3つの鳥瞰図で、色彩が変わるところ(地形・気候の環境が変わるところ)をそれぞれ囲んでみよう。
- (2) 中国の鳥瞰図で、モンゴル高原(ゴビ砂漠)、タリム盆地、チベット高原に描かれている民族のイラストを探して○を付け、以下に語句を記入しよう。また、それぞれの民族で主に信仰されている宗教を、『新詳高等地図』p.153「②宗教」(『標準高等地図』p.143「■世界の宗教」)などを参考に、答えよう。
- | 描かれている民族のイラスト | 主に信仰されている宗教 |
|-------------------------------------|----------------------|
| モンゴル高原(ゴビ砂漠) <input type="text"/> 族 | <input type="text"/> |
| タリム盆地 <input type="text"/> 族 | <input type="text"/> |
| チベット高原 <input type="text"/> 族 | <input type="text"/> |
- (3) ヨーロッパの鳥瞰図で、スペイン、フランス、イタリアに描かれている世界遺産のイラストを探して○を付けよう。世界遺産に該当するかは『新詳高等地図』p.49～50、53～54(『標準高等地図』p.43～44、47～48)で世界遺産の記号があるか、確認してみよう。
- (4) 北アメリカの鳥瞰図で、アメリカ合衆国で盛んな農牧業に関するイラスト(小麦・大豆・とうもろこし・米・綿花・牛)を探して○を付けよう。



鳥瞰図と資料の関連のなかで、地域の特徴をみていこう。

- 問2** (1) 3つの地域において、以下の都市を鳥瞰図内で探して○を付け、気候帯・気候区分の名称と特徴を書き出そう。『新詳高等地図』p.141～142(『標準高等地図』p.119～120)「①世界の気候区と海流」も参照しよう。
- 中国 ラサ(H) :
- ターリエン(Dw) :
- ヨーロッパ パリ・ベルリン(Cfb) :
- リスボン(Cs) :
- 北アメリカ ラスヴェガス(BW) :
- シカゴ(Df) :

- (2) 各地域の自然環境の特色について、当てはまるほうに○を付けよう。平原と気候区分の名称は解答欄に記入しよう。

中国 → ①(東部 ; 西部)の標高が高く、乾燥している。
 ②(東部 ; 西部)に向かうにつれ、標高は低くなる。

ヨーロッパ → (アトラス ; アルプス)山脈を境に、南北で地形・気候が異なる。

北側：3つの平原

気候区分：気候(Cfb)、気候(Df)

南側：山脈、高原、丘陵が多い。

気候区分：気候(Cs)

北アメリカ → (アパラチア ; ロッキー)山脈を境に、東西で地形が異なる。

東側の地形の特色(平原 ; 台地・山脈・高原)

西側の地形の特色(平原 ; 台地・山脈・高原)

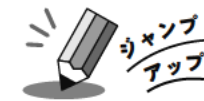
- (3) 3つの地域の鳥瞰図内のイラストで、地域の特徴(自然・生活文化)を示しているものを探してみよう。

①中国 高地や乾燥地域に関する動物(2つ)、歴史や生活文化に関わるもの(3つ)を探し○を付け、以下に記入しよう。

動物 歴史、生活文化

②ヨーロッパ キリスト教やイスラームと関わり深い宗教施設や都市を探し○を付け、以下に2つ記入しよう。

③北アメリカ プレーリーや中央平原の地域で盛んに栽培される農産物を探し○を付け、以下に3つ記入しよう。



3つの地域の鳥瞰図を通して整理できたことを、まとめてみよう。

- 問3** 3つの鳥瞰図から分かる自然環境(気候・地形)や生活文化の共通点や相違点を考えてみよう。

共通点：

相違点：

鳥瞰図から「生活文化の多様性」をとらえる ワークシートの活用について

田園調布学園中等部・高等部 山田 智之

鳥瞰図を地理の学習で用いる利点と留意点

鳥瞰図は、色彩、イラスト等により地域の様子を大きく俯瞰することで、さまざまな地理情報がイメージしやすい形で作成されている。この利点を生かすにあたり、学習の導入時に関心を喚起する目的で用いることや、学習を終えた後に自身で鳥瞰図に新しい情報を加えるなどの発展的な活用が考えられる。今回のワークシートでは、導入（ウォーミングアップ部分）、既習事項の復習（ステップアップ部分）による知識の整理、最後に地域の特徴をまとめる（ジャンプアップ部分）構成とした。中国、ヨーロッパ、北アメリカの3つの地域を一緒に掲載した構成であるが、多くの学校では地域ごとに学習を進める計画が一般的と想定されるため、地域ごとに区切って活用することも視野に入れ、設問を設けている。

鳥瞰図からの読み取り

「知識・技能」の観点(ウォーミングアップ)

中国・北アメリカの鳥瞰図は色彩の変化がヨーロッパに比べ明瞭で、気候や地形の変化が読み取りやすい。設問（1）で、生徒たちに地域内の多様性を理解させるための基礎として、まずは鳥瞰図内に線や印を付けていくことで、自然環境の相違に気付かせることが重要である。中国ではヒマラヤ山脈、北アメリカではロッキー山脈、ヨーロッパではアルプス山脈は押さえさせたい。（2）～（4）は、生活文化（民族・宗教）、歴史遺産（世界遺産）、農牧業と、3つの地域で違いが表れている要素を取り上げた。作業を行わせているときは、地図帳のその他のページを適宜参照するように声をかければ、地図帳を活用する時間が自然に増える流れが作れる。

鳥瞰図と資料を用いて知識を整理する

「知識・技能」「思考・判断・表現」の観点 (ステップアップとジャンプアップ)

ステップアップの部分は、（1）が「知識・技能」、（2）が「思考・判断・表現」の要素を含む構成である。資料とのかかわりを意識して、ケッペンの気候区分と気候区の特徴を書き出す。『新詳高等地図』では鳥瞰図と同頁にある雨温図、『標準高等地図』では同様に農業地域区分を読み取る際の手がかりとなる。これにより、ウォーミングアップで確認した事項がより確かな知識として確認できる。設問では、日本では見られない気候区を主に取り上げた（Dfを除く）。なお、ラサは雨温図では高山気候（H）であるが、ステップ気候（BS）としても説明を加えておく。（3）では、ヨーロッパは歴史的にはキリスト教文化とイスラーム文化の両方が見られる地域であることを指摘しておきたい。ジャンプアップの設問は、学習したことをまとめる「思考・判断・表現」の内容となっている。

鳥瞰図を活用した

「主体的に学習に取り組む態度」について

鳥瞰図の利点は、冒頭でも触れたように、地域の特徴を一定の自由度で表現できる点にある。鳥瞰図と一般図の違いを踏まえさせたいので、生徒自身が新たに加えたい情報を考え、イラストの考案や説明を付けさせるなど、オリジナル鳥瞰図の作成につなげることが可能である。このような図を作らせる場合、世界規模では範囲が広すぎるため、身近な地域に焦点を当てて取り組ませる方法が考えられる。

右面の解答例はコピーしてご利用ください。

- 問1 (1) 略
- (2) モンゴル高原 (ゴビ砂漠) 族
- タリム盆地 族
- チベット高原 族
- (3) (4) 略

- 問2 (1) 中国 ラサ (H) → 気温の日較差が大きく、紫外線が強い (または、乾燥帯・ステップ気候 → ステップとよばれる草原が広がる)
- ターリエン (Dw) → 冬は降水量が少なく極めて寒い、気温の年較差の大きい気候
- ヨーロッパ パリ・ベルリン (Cfb) → 季節にかかわらず一定の降水がある
- リスボン (Cs) → 夏は暑く乾燥し、冬に降水が集中する
- 北アメリカ ラスヴェガス (BW) → 年降水量250mm未満の地域が多い
- シカゴ (Df) → おもに北緯40度以北に分布し、年間を通して降水があり、冬の寒さは厳しい。

- (2) 中国 ① (東部 ;) ② (; 西部)
- ヨーロッパ (アトラス ;)
- 北側：3つの平原
- 気候区分： 気候 (Cfb)、 気候 (Df)
- 南側：気候区分： 気候 (Cs)
- 北アメリカ (アパラチア ・)
- 東側の地形の特色 (; 台地・山脈・高原) 西側の地形の特色 (平原 ;)

- (3) ①中国 動物 歴史、生活文化
- ②ヨーロッパ
- ③北アメリカ

問3 共通点：

相違点：